

一般社団法人国際介護人材育成事業団

2022 度 第 4 回理事会議事録

日 時：2023 年 4 月 15 日（土）14 時 05 分～16 時 40 分

会 場：パルシステム生活協同組合連合会 2 階第 1 会議室のリアルと WEB のハイブリッド型開催

出席者：（理事） 金澤 剛 小沼 正昭 小國 英夫*WEB 宮本 信
松下 啓子*WEB 佐藤 健二 宮脇 棟次郎

（監事） 沖倉 紅児

オブザーバー： 小林 佳之*WEB 古石 隆光*WEB 江口 幸一 清田 隆広
又賀 良子 大塚 禎 菊地 剛 會田 ゼイ ティダー キイ
島村 宏 *WEB 小糸 孝*WEB 吉谷 正紀*WEB

配布書類：第 4 回理事会議案書

○招集と定足数

金澤理事長より、4 月 7 日、定款 35 条 1 項に基づき、2022 年度第 4 回理事会を招集した。又、14 時 05 分現在、理事総数の過半数以上の理事 6 名が出席し、定款 37 条 1 項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

尚、新型コロナウイルスの感染拡大の防止の観点から、リアル出席者と各役員並びにオブザーバーの職場並びに自宅をつなぐ WEB 会議システムを用いて実施した。

次に、金澤理事長が議長に就き、出席者の音声が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっているのを確認した。その後、議長が開会を宣言し、議事に入った。

○特別報告 1 「介護人スタッフを常用できる体制を作るために」

理事長より、事業団の到達点とこれからの介護人材の絶対的な不足予測を踏まえ、課題の第 1 が「外国人スタッフの常用体制の構築」にあり、その具体化のためには、就業規則、規定等の整備が必要なこと、そして、各受け入れ事業所による外国人スタッフの育成、指導、相談等の管理能力の強化求められることを、特別報告した。

○特別報告 2 「一時帰国と退職を伴う、出国（帰国）と脱退一時金の取得の件

専務理事より、第 1 期生、第 2 期生の意向を踏まえ、一時帰国（里帰り）と本人の希望に応じた、脱退一時金取得等のため、一度退職・出国し、再来日後に退職前と同じ法人等に就労する場合などの支援等について、特別報告があった。

○審議事項

第1号議案 2022年度事業報告、決算報告並びに剰余金処分（案）承認の件

議長は、専務理事より、議案書に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、未払い費用、未払い法人税の確定と決算監査を受けた上で、6月の第10回定時社員総会に付議することを、全員異議なく賛成、可決した。

第2号議案 2023年度事業計画（案）並びに予算（案）決定の件

議長は、専務理事より、議案書に基づき、第2議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、下記の意見を踏まえた、一部修正を前提に、全員異議なく賛成、可決した。尚、この修正については、理事長に一任した。

まずは、脱退一時金制度の趣旨、将来具体的に起こりうる不利益などを当事者たる外国人介護人材にしっかり伝え、最終的な判断は本人に委ねるし、必要な手伝いはしますというのが事業団のスタンスであろう。

です。P25課題7については、一時金取得と出国再入国の支援は一応切り離すべきだと思います。

課題8は、最近、各介護施設から、食堂の調理員の人不足も深刻だという相談を受け、外国人スタッフの求人要望を受けることが多くなった。介護分野以外にもウイングを広げた、事業の利用もあっていいのではないか。

又、特定技能への移行の際に、飲食など他職種への転職も増えることも見込まれる。会員で、こうした人材を採用できる職場があれば、育てた人材の新たな受け皿になっていただける、あるいは、転職で生じる欠員を、広く、求人募集出来る等の人材紹介事業も必要になってくるのではないか。

第3号議案 役員（理事）補充の件

議長は、専務理事より、議案書に基づき、第3議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、新たな理事候補者をパルシステム東京から推薦を受けて、6月の定時社員総会にこの議案を付議することを、全員異議なく賛成、可決した。

第4号議案 役員（理事）報酬上限額決定の件

議長は、専務理事より、議案書に基づき、第4議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決した。

又、下記の意見を頂き、次年度の検討課題とすることを確認した。

支払う理事報酬のアップを検討すべきである。

報酬総額の上限額の決定であり、もっと、余裕を持たせた金額設定が適当ではないか。

第5号議案 第10回定時社員総会の開催日時及び場所並びに社員総会の目的である事項決

定の件

議長は、専務理事より、議案書に基づき、第5議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決した。

一般報告

議長は、議案書に基づき、小沼専務理事並びに佐藤理事、ティダー キィ国際人材支援担当より、登録支援機関、小國理事より、コミュニケーション調査の進捗状況を一括して報告、説明させ、質疑を行い、下記のことを確認した。

又、質疑のなかで、宮本理事より、「寿量会での外国人の一時帰国の取り組み方」のレポート報告を頂いた。

- 3月31日付で、社会福祉法人寿量会の米満 淑恵理事長が退任し、4月1日付で梶原 瑞恵新理事長が就任したことが報告された。
- 2期生の反省から、3期生の技能実習3年修了後の進路説明会を再開し、各受入機関の代表者も参加すること確認した。
- 外国人スタッフの常用体制の構築には、各会員事業所における、外国人スタッフとの相談機能の強化が課題である。教育・生活指導員等担当者を窓口に、相談と問題の解決能力を具体的に高める必要がある。

議長は、その後、議事審議を終了し、16時40分に閉会を宣言して散会した。

以上、相違ありません。

2023年4月15日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛 理事 小沼 正昭 理事 小國 英夫

理事 宮本 信 理事 佐藤 健二 理事 松下 啓子

理事 宮脇 棟次郎

監事 沖倉 紅児